



今月の担当
石田 篤子 保健師

新しい年が始まりました。今年も実りある一年にするため、心身共に準備を始めたものです。今月は「今年度の検診結果」についてお知らせします。

検診要諦は 若干減少傾向

若干の増減はありますが、成人病、胃・肺・大腸がん検診は減少傾向、子宮・乳がん検診は横ばいとなっています。(次頁図1)

成人病検診結果から

近年、受診者の三割以上が70歳以上の方となっています。(次頁図2・3)

日頃病院にかかっている方、職場で受診機会のない方は町の健診を受けることをお勧めします。現在、何らかの疾患で定期的に受診されている方は、集団検診ではなく、主治医の指示に従い病院で総合的に診てもらいましょう。健診結果を基に生活習慣を改善し、いつまでも健康体でいられるといいですね。

結果は「要医療」(治療継続を含む)が受診者の半数以上と多く、「異常なし」は2割弱と少なくなっています。(次頁図4)

- ① コレステロール220以上
- ② 肥満BMI25以上
- ③ 軽症高血圧(140-159/90-99)

貧血(ヘモグロビン男性14以下 女性12以下)です。(次頁図5)

これらを性・年齢別に

分析すると以下の特徴がみられました。

- (1) コレステロール高値は女性だけでなく男性にも多い。
- (2) 肥満は50歳代の男性、60歳代の女性に多い。
- (3) 血圧は上140代・下90代の若干高めの男性が多い。
- (4) 貧血は女性に比べ男性に多く、男性は65歳以上に女性は40代に多い。

肥満・血糖・血圧・コレステロールが高めなど複数の因子をもつと「動脈硬化」の進行が早くなり、心臓病や脳卒中を起こしやすくなります。そのため、肥満・高血圧・高脂血症・糖尿病は「死の四重奏」と呼ばれています。今一度ご自分の検診結果を見直して下さい。

分析すると以下の特徴がみられました。

胃・肺・大腸がん 検診の結果から

高齢者になるほど、がんの発生は多くなりますが、70歳以上の受診は

2〜3割に留まっています。(次頁図6) 毎年ではありませんが、検診でがんが発見されています。集団検診で発見されたがんは早期のものが多く、医療を受け元気な元の生活にもどっています。

皆さんに

お願ひしたいこと

① 病院で経過を診ている方・治療をしている方は引き続き病院で診てもらいましょう。

② 精密検査になっても症状がないからと受診せず、次の年の検診でチェックするのは止めましょう。(精密検査と精度が違います)

③ 高齢者からもがんは発見されています。自分に関係ないと思わず検診を受けましょう。

子宮・乳がん検診の結果から

子宮・乳がん共60歳以上になると受診数が減り、70歳以上では更に減

少しています。(次頁図7) 閉経後、自分には関係のない検診と思われるがちですが、閉経後も必要な検診です。

検診料金を 知っていますか?

四月の検診を例にあげてみます。

成人病・胃・肺・大腸がん 検診を受けた場合		子宮(頸部・超音波) 乳(視触診・マンモ)がん 検診を受けた場合	
69歳以下	町の補助 11,380円 個人負担 2,000円	69歳以下	町の補助 9,700円 個人負担 1,500円
70歳以上	町の補助 12,510円 個人負担 なし	70歳以上	町の補助 11,200円 個人負担 なし

健康は自分で作る・守る時代になってきています。上手く検診を利用し健康状態をチェックしましょう。10年後趣味や仕事に頑張ってもらえるように、今自分のやれる事を見つけてみませんか。